

環 境 産 業 委 員 会 会 議 録

- 1 期 日 平成25年3月4日(月)
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時51分
(休憩11:15~11:25)
- 4 閉会時刻 午前11時47分
- 5 出席者 委員長 鈴木正治 副委員長 榛葉正樹
委員 大石與志登 委員 雑賀祥宣
委員 鳥井昌彦 委員 加藤一司
委員 竹嶋善彦 委員 栗原通泰
(当局側) 副市長、環境経済部長、都市建設部長、部付参与、
所管課長ほか
(事務局) 議事調査係 石山尚哲
- 6 審査事項
- ・議案第 37号 平成24年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第4款 衛生費(第2項衛生費、第3項清掃費)
第5款 労働費
第6款 農林水産業費(第3項1目のうち所管部分)
第7款 商工費
第8款 土木費(第4項5目のうち所管部分、6目・7目を除く)
第11款 災害復旧費
 - ・議案第 42号 平成24年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第1号)について
 - ・議案第 43号 平成24年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
 - ・議案第 44号 平成24年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について
- 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成25年3月4日

市議会議長 大石 與志登 様

環境産業委員長 鈴木 正治

7 会議の概要

平成25年3月4日（月）午前9時51分から第1委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

[9:53～11:15]

①議案第37号 平成24年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第4款 衛生費（第2項衛生費、第3項清掃費）

第5款 労働費

第6款 農林水産業費（第3項1目のうち所管部分）

第7款 商工費

第8款 土木費（第4項5目のうち所管部分、6目・7目を除く）

第11款 災害復旧費

第4款 衛生費

[環境政策課、説明 9:54～10:00]

[質疑 10:00～10:02]

○栗原通泰委員

環境資源ギャラリー運営支援費が減額となっているが、減額の要因は。

●榛村環境政策課長

処理業務委託の関係で減額している。内容としては、主に資源化物の蛍光管、乾電池の回収を通常年間3回行っているが、2回に減らして費用を削減したこと、また、震災瓦れきの受け入れについて予算化していたが、受け入れを見送ったことなどで、関連した調査等を実施しなかったためである。

○鈴木正治委員長

以上で質疑を終了する。

第4款 衛生費

第6款 農林水産業費

第8款 土木費

[下水整備課、説明 10:03～10:05]

[質疑]

なし

第5款 労働費

第7款 商工費

[商工観光課、説明 10:07～10:13]

[質疑 10:13～10:15]

○雑賀祥宣委員

その他企業誘致対策費の減額は、企業の業績が不調だったということか。

●安藤商工観光課長

当初見込んでいた数字ほどは多くなかった。申し込みがあったのは11社であるが、それほどはいかなかったということである。

●廣畑環境経済部長

予測していたほど設備投資がされなかったということである。

○鈴木正治委員長

そういった企業について今後、投資がされる見込みがあるのか、それとも縮小したということなのか。

●安藤商工観光課長

来年度の予定の確認をしている。来年度も同様の設備投資はあると見込んでいる。

○鈴木正治委員長

以上で質疑を終了する。

第6款 農林水産業費

第11款 災害復旧費

〔農林課、説明 10:16～10:26〕

〔質疑 10:26～10:32〕

○鈴木正治委員長

大尾大日山線整備事業は何年から何年までの計画となっているのか。

●竹嶋林業振興係長

浜松市から島田市まで関係している。

●鈴木農林課長

平成9年度から平成27年度を予定している。掛川市内の延長が9,915メートル、全体の計画延長が34キロメートル、総事業費で約40億円を見込んでいる。

○大石與志登委員

お茶の改植の補助制度について、先ほどの説明で国の補助制度を活用して市の補助をやめるということだったが、国の制度と市の制度の違いはあるのか。

●鈴木農林課長

国の制度の方が使い勝手が良いということで、市への申し込みはなかった。

○栗原通泰委員

受益者の不調で事業見送り、停止というのが何点かあったが、予算計上をする段階である程度話しを進めていた中での計画なのか、それとも予算をつけた後にアプローチをして結果的に駄目だったのか、どのような状況だったのか。

●鈴木農林課長

浜川新田地区等については、全体事業計画の中で本年度はここまでできるものとして進めてきた。この地区については、当初予算計上時には相続登記等の完了を見込んでいた。1年かけたが受益者側の相続登記が完了に至らなかったため、やむを得ず延長するものである。

○栗原通泰委員

そうすると、これからも同じような状態のまま行くと同じ結果になりやすい。予算計上の段階でどのように反省点をもってやっていくのか。

●鈴木農林課長

全体計画の説明、個別の説明をする中で、地元の同意が得られるところを事業化するのが前提であるので、全体計画の期間を勘案しながら確実な進捗が図れるものを予算化することを基本にして進んでいきたいと思っている。

○鈴木正治委員長

以上で質疑を終了する。

第8款 土木費

〔維持管理課、説明 10:33～10:40〕

〔質疑 10:40～10:44〕

- 雑賀祥宣委員
公営住宅の使用料収入が減額とのことだが、市営住宅の入居率はどのくらいか。
- 山本維持管理課長
606戸中、456戸入居している。入居率は75.2%。
- 雑賀祥宣委員
人気のないところはどこか。
- 山本維持管理課長
古い建物は人気がない。宮脇の団地が一番人気がある。8倍くらいの競争率だった。
- 雑賀祥宣委員
外国人の入居者はいるのか。
- 山本維持管理課長
相当数入居している。
- 栗原通泰委員
未納はどのくらいの数字か。
- 山本維持管理課長
15団地合計で、昨年度以前のものも含めて5,171万9,680円の未納がある。
- 鈴木正治委員長
市営住宅入居者のうち、生活保護受給者は概ねどのくらいいるのか。
- 山本維持管理課長
最新の数字ではないが、21世帯で、全体の4.5%である。

- 鈴木正治委員長
以上で質疑を終了する。

第8款 土木費

第11款 災害復旧費

〔土木課、説明 10:45～10:54〕

〔質疑 10:54～10:59〕

- 栗原通泰委員
JR掛川駅木造駅舎耐震化負担金について、最終的な計画、金額についてどのようになったのか。
- 内山都市建設部長
現在、仮駅舎を木造駅舎と天浜線駅舎の間に作っている。見込みとしては3月末までに作るということのようである。耐震化工事本体の発注はしていないため、現在の段階では当初予定していた1億1千万円、その額で今のところは固定をしている。調査が終了している現段階で、JRで概略設計をしたり調査をしたりする費用は当初の予定より少し落ちている。そのため負担金額も少し落ちることになるが、JRから総額がいくらになるという変更をまだ示されていないため、実際に工事を発注するまでは、当初の1億1千万円でいこうということである。
- 鈴木正治委員長
希望の丘構想の用地買収について道路予定地の所有者は誰か。
- 榛葉土木課長
病院内の敷地であるので、病院会計より道路用地として買収する。
- 榛葉正樹副委員長
郡道坂線で追加の用地買収とのことだったが、完成予定は何年か。
- 榛葉土木課長
事業期間は平成27年度までである。

○鈴木正治委員長

以上で質疑を終了する。

第8款 土木費

[都市政策課、説明 10:59~11:05]

[質疑 11:05~11:15]

○榛葉正樹副委員長

東街区の再開発についてはどのような状況なのか。事業に係わっている若い人の考えはどうか。

●山崎都市政策課長

先般も再開発準備組合の理事会と弥栄の合同会議が行われたが、現在、最終的な事業の積み上げを行っている。その中では、商業床部分はテナントに貸し出す方向で、準備組合も弥栄も考えている。若い経営者もその中で、計画を進めていこうということで意見がまとまっていると聞いている。

○榛葉正樹副委員長

国とのやり取りは怎么样了のか。

●山崎都市政策課長

中部地方整備局と静岡県に対して、現在の状況を報告している。掛川市としても安全が担保された、確認された段階で、遅くとも夏までには、再開発組合が設立ができるようなスケジュールで進んでいきたい。国に対しては引き続き予算の確保を要請している。

●内山都市建設部長

国は、全国の10万都市、20万都市の地方都市の再開発はかなり難しいが、国としては駅前の中心地を活性化したいという意向を持っている。掛川市が延期をして4年目になるが、まだ国は掛川を信頼している。掛川という街は新幹線駅を作った当時から地方都市のリーダーだ、だから何かやってくれる、だから国としても再開発事業の予算を確保して待っている。全国の中小的地方都市が再開発事業をやろうとしているが、なかなかうまくいかない。やったにしろ、いろいろ問題が起こる。そのような中で掛川がいろいろな方策で絶対大丈夫だというような事業を試みている。その試みに対して、待っているよという姿勢でいただけている。

●伊村副市長

全国の中小都市の再開発事業がうまくいかないのは、商業床部分の採算が合わない。賃料が高かったり、駐車場が少なかったり、有料だったり、周辺に商業集積がない等いろいろと問題があるが、調べてみれば理由はまったく同じ。成功するかしないかは商業床の採算が合ってやっつけられるのだが、今の掛川市の計画は建設コストから見ると採算が合わせにくい。あまりにも床の賃貸料が高い。賃貸料を下げるには建設費を安くするか、赤字でも市が補助金を出すしかないが、市が補助金を出し続けるわけにはいかないし、土地開発公社も無償で土地を長期間貸すわけにもいかない。選択肢としては建設コストをいかに下げて、賃貸料を下げるしかないが、今の試算ではそこまでいかない。この2年間、出店してくれそうないろんな方と話しを続けたが、その値段では出店できない、ということになってしまう。今の掛川のスキームは、一昔前のやり方、成功したか失敗したかの境目は、商業テナント、サービス業が出店して事業ができるかの採算性に合わせた建築計画にしないといけないのだが、そこに至っていないというのが根本にある。2月補正予算で減額をして、来年度の当初予算で再び計上しているので、市長も掛川市として遠くないうちにやるという前提のもと方向性を出さないといけないと考えているので、少し時間をいただき、当初予算がつけば、それを前提に大きく踏み込んでいくことを考えている。国・県の補助金もそう度々流すことはできない。このような認識でいるので、御理解、御協力をお願いしたい。

○鳥井昌彦委員

その時々の方首長の思惑でやっているような感じがする。早く、やるかやめるかの結論を出した方がよいと思う。

●伊村副市長

市が4億円余補助金を出すことについて、単にマンションができて、少しその横にサービス業の業務がオープンしたくらいでは、税金を出す価値があるのかという一点で最終決断ができ

ない状況にある。弥栄という会社を作って、わたしが責任を持つと言っても、すべてを最後まで持ちきれるかと言うことになると、極めて不安だという点があってこんな形になっているが、そろそろ決断する時期に来ていると判断している。

- 鈴木正治委員長
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕
なし

〔採 決〕
議案第 3 7 号 平成 2 4 年度掛川市一般会計補正予算（第 5 号）については
全会一致にて原案とおり可決

〔休憩 11:15～11:25〕

[11:25～11:29]

②議案第 4 2 号 平成 2 4 年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第 1 号）について

〔都市政策課、説明 11:25～11:29〕

〔質 疑〕
なし

〔討 論〕
なし

〔採 決〕
議案第 4 2 号 平成 2 4 年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第 1 号）については
全会一致にて原案とおり可決

[11:29～11:38]

③議案第 4 3 号 平成 2 4 年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について

〔下水整備課、説明 11:29～11:36〕

〔質 疑 11:36～11:37〕

- 鈴木正治委員長
使用料収入の減額の理由は何か。
- 栗田下水整備課長
一昨年 of 東日本大震災以降の節水意識の向上が大きいと思われる。

- 鈴木正治委員長
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕
なし

〔採 決〕
議案第 4 3 号 平成 2 4 年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）については
全会一致にて原案とおり可決

[11:38~11:40]

④議案第44号 平成24年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について

[下水整備課、説明 11:38~11:40]

[質 疑]

なし

[討 論]

なし

[採 決]

議案第44号 平成24年掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）については
全会一致にて原案とおり可決

4) その他

[11:41~11:46]

PM 2.5について

[環境政策課、説明 11:41~11:46]

5) 閉会 11:47